

大学院レベルの 老年学教育の成果と課題

桜美林大学大学院老年学研究科
修了生に対する調査から

桜美林大学大学院 老年学研究科 同窓会



目的

2002年に国際学研究科老年学専攻が開設されて以降、これまで300名を超える修了生を送り出してきた。

この20年間を振り返り、「大学院における『学際的』な老年学教育の成果と課題」とは何かを明らかにするため、老年学のプログラムの修了生を対象に調査をした。

方法

- ・期間：2022年1月24日～2月20日
- ・対象：国際学研究科・老年学専攻、老年学研究科の修士課程・博士課程の修了生322人
- ・調査依頼方法：老年学サロン・同窓会のML、各教員のゼミ、個人的なつながり
- ・方法：インターネットによるWeb調査
- ・分析：量的：IBM SPSS Ver.26
質的：KJ法によるカテゴリー分析
- ・研究倫理：桜美林大学研究倫理委員会の承認(21041)

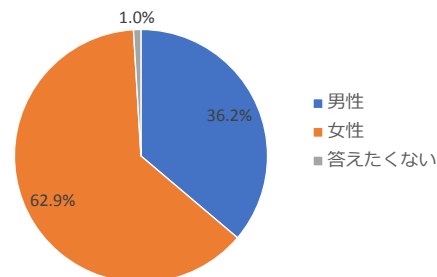
回収結果

- 105名から回答を得た（回収率32.6%）
（Google Formにうまく解答できず、紙媒体による提出2名を含む）

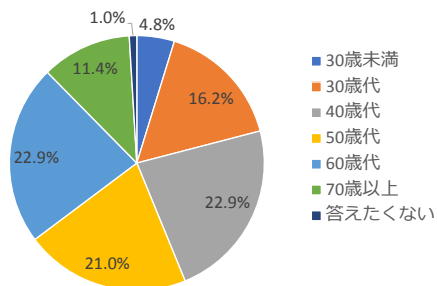
以下、表示に関して

- 質問は、全員、修士（博士前期）課程の修了者、博士（博士後期）課程の修了者に向けに分けられる。
- 回答者を明確するため、
全員に対する質問の結果は〈共通〉、
修士課程の修了者の質問に対する結果は〈修士〉、
博士課程の修了者の質問に対する結果は〈博士〉と記載した。

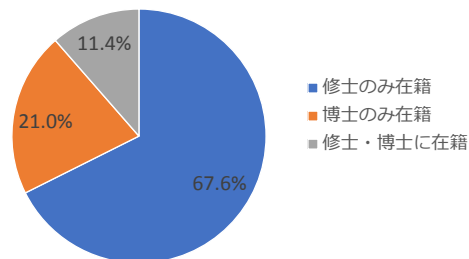
〈共通〉 性別は？（n=105）



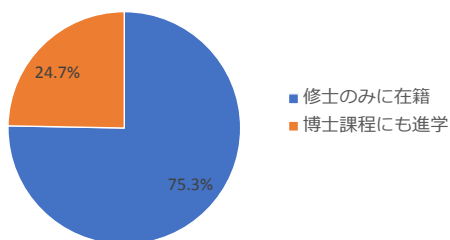
〈共通〉
年齢は？ (n=105)



〈共通〉
修学の種別は？ (n=105)



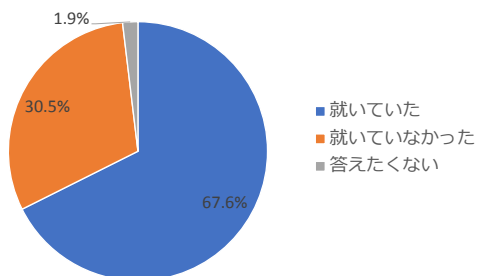
〈修士〉
修士課程から博士課程への進学は？
(n=93)



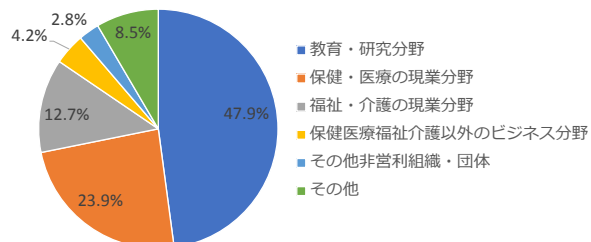
入学時について



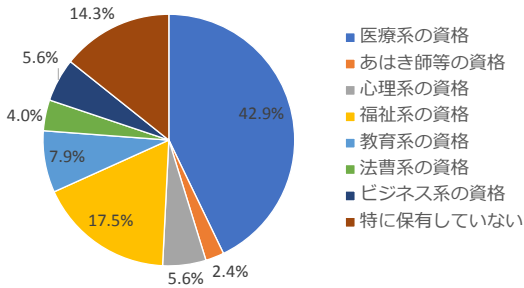
〈共通〉
入学時に常勤職に就いていたか？
(n=105)



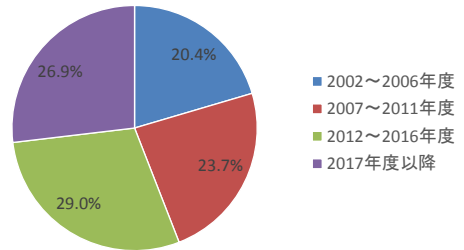
〈共通〉
常勤職の分野・領域は？
(常勤職のみ回答：n=71)



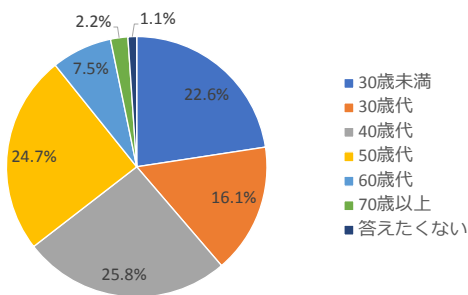
〈共通〉
入学時の保有資格は？ (n=105)



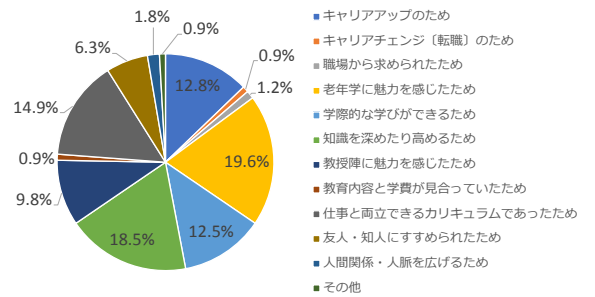
〈修士〉
入学年度は？ (n=93)



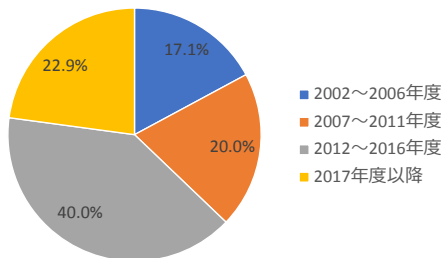
〈修士〉
入学時の年齢は？ (n=93)



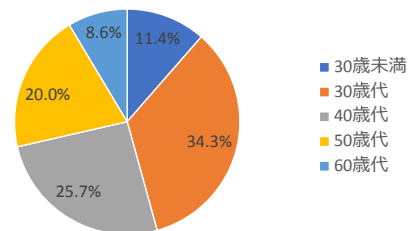
〈修士〉
入学の動機は？ (n=93)



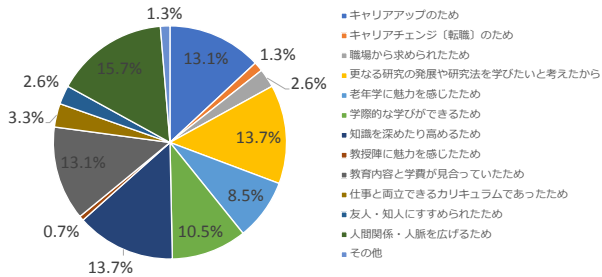
〈博士〉
入学の年度は？ (n=35)



〈博士〉
入学時の年齢は？ (n=35)



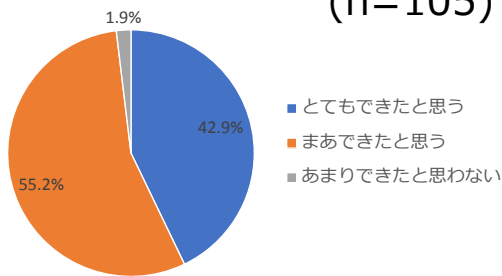
〈博士〉 入学の動機は？ (n=35)



在学時の老年学教育について



〈共通〉 学際的な学びができたか？ (n=105)



〈共通〉 学際的な学びができたか

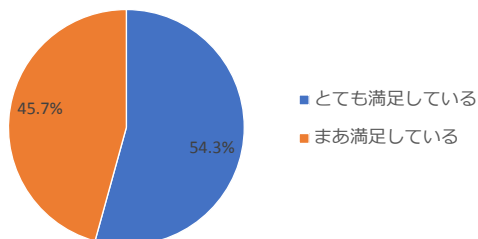
自由記述の分析結果

書き込み：46
 ⇒元ラベル：58生成
 ⇒小カテゴリー：23生成
 ⇒大カテゴリー12生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	新たな知見の習得	専門分野以外の知見を得られた	9
		多くの分野のことを学べた	6
		老年学を学べた	3
		知識が増えた	2
		海外の研究が学べた	2
2	生徒同士の交流による知見の広がり	学友との出会いから新たな知見を得た	7
		生徒が少なく交流ができなかった	1
		海外の学生との交流	1
3	高名な教授による熱心な指導	高名な教授陣の講義	7
		よく指導していただいた	1
4	更なる理解へは未到達	難しかった	1

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
5	多角的・多面的な視点を得た	多角的な視点からの議論ができた	2
		視野が広がった	1
6	学際的で専門的な講義	学際的な学びが合った	3
		専門的な講義	1
		研究法を学べた	1
7	充実したカリキュラム	カリキュラムが整っていた	2
8	カリキュラムへの要望	カリキュラムに不満を感じている	2
9	学びを仕事に活用	仕事に活かすことができた	2
10	仕事と学びの両立の難しさ	仕事と勉強のバランスを学んだ	1
		仕事と勉強のバランスが取れず不完全感がある	1
11	新たな人生の目標	新たな目標ができた	1
12	論文の完成	論文を仕上げられた	1

〈共通〉
教育内容の満足度は？
(n=105)



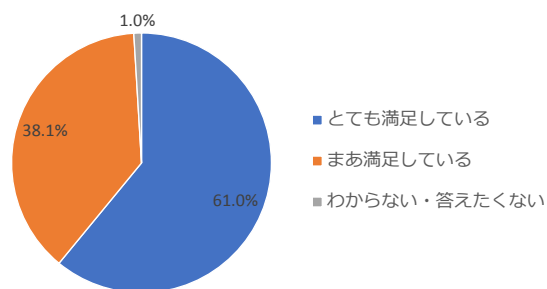
〈共通〉
教育内容の満足度の自由記述

分析結果

書き込み→45（内容により3つを除外）
元ラベル：53生成
⇒小カテゴリー：15生成
⇒大カテゴリー：8生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	生徒に寄り添った熱心な指導	教授陣の熱心で寄り添った指導	7
		質問しやすい環境・適切な指導	5
2	満足いくカリキュラムと役立つ講義	満足いく内容・カリキュラム	7
		研究を学べた	4
		仕事で役立つ学び	3
		楽しい講義	2
		カリキュラムが役立っている	1
3	新たな知見と学び	新たな視点・知見が得られた	5
		深い学びが得られた	4
4	魅力的で専門性を持った教授陣	専門性を持った教授陣の講義	5
		魅力的な講師陣	3
5	学べる機会の拡充	もっと学びたい	3
6	社会人学生としての悩み	勉強と仕事の両立の難しさ	3
7	学友との出会い	友人との出会い	1
8	固定化した教授陣	教授陣が固定化している	1

〈共通〉
教育体制への満足度は？ (n=105)



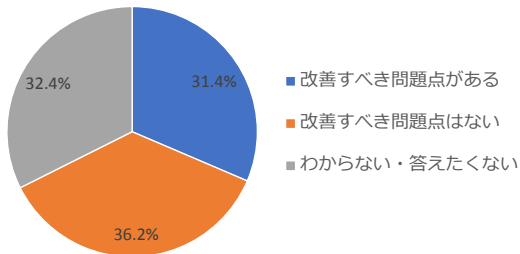
〈共通〉
教育体制への満足の自由記述

分析結果

書き込：41
⇒元ラベル：51生成
⇒小カテゴリー：13生成
⇒大カテゴリー：5生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	著名な講師陣による素晴らしい講義と指導	教授陣からの手厚い	16
		専門分野の第一人者が揃っていた	10
		多分野の講師により育まれる学術的領域	6
2	満足できるカリキュラムとサポート	楽しく満足	4
		学業と仕事の両立支援	4
		ゼミを通じた学び	2
		研修制度	1
3	講師陣への要望	複数の政策論や経済の講義が必要	2
		女性講師の活用希望	2
		先生方への印象	1
4	カリキュラムへの要望	仕事との両立の難しさ	2
		時間をかけた学びが必要	2
5	過去に戻り学びたい	もっと学びたかった	1

〈共通〉
改善すべき問題点は？ (n=105)



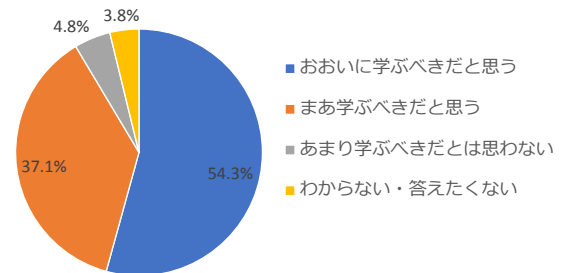
〈共通〉
改善すべき問題点の自由記述

分析結果

書き込み：29（内容により4つを除外）
⇒元ラベル：31生成
⇒小カテゴリー：15生成
⇒大カテゴリー：8生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	講師の拡充と指導への要望	講師の拡充	4
		学科内研究や研究推進への支援の拡充	2
		指導教授によるサポートの差	3
		講師に残念に感じた点	2
		ゼミ運営への要望	1
2	就学支援の徹底	入学前のサポートの充実	4
3	学際的分野の拡大	老年学への思い	3
		分野の裾野を広げ海外にも目を向ける	3
4	分析法講座の拡充	SPSSなど量的分析の授業の拡充	3
		多様な質的分析法を学ぶ機会の増設	2
5	教育システムの多様化	教育システムの多様性を可能に	2
6	学位ではない形のカリキュラム	自身の老いに照らしたカリキュラムも必要	1
		大学院で得られる資格が欲しい	1
7	専門職育成に特化しすぎ	職務上ステップアップする人へのカリキュラム	1
8	社会人学生への配慮	学生の負担を考慮	1

〈共通〉
老年学は学士課程において学ぶべきものか？ (n=105)



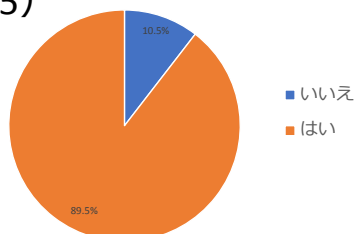
〈共通〉
老年学は学士課程において学ぶべきものか、の自由記述

分析結果

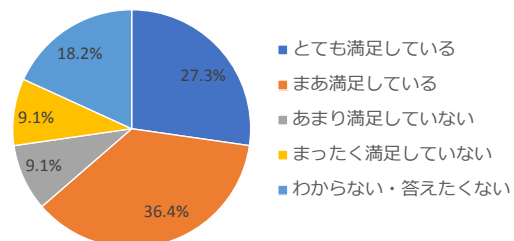
書き込み：46（内容により1つを除外）
元ラベル：59生成
⇒小カテゴリー：13生成
⇒大カテゴリー：8生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	社会の現状への理解が必要	高齢社会を考える上でも重要	15
		世代間理解のため	3
2	生涯発達の見点が必要	加齢は自分自身の問題ともなる	9
3	学士が学ぶ必要性	学士から学ぶ必要性	9
		老年学を深めるための学士からの教育	2
4	学士レベルへの内容の吟味	学士では内容が難解	5
5	老年学を広める	老年学を広める	4
6	早期教育が必要	早期教育が重要	3
7	学ぶ機会の少なさ	専門領域への老年学教育の不足	3
		学ぶ機会の少なさ	1
8	学校組織として老年学を取り入れる難しさ	学士からの設置への困難さ	3
		教育体制としての構築は可能	2
		就職が難しい	1

〈共通〉
母国語は日本語か？
(n=105)



〈共通〉
留学生へのサポートの満足度は？
(留学生のみ回答：n=11)



〈共通〉
留学生へのサポートの満足度の自由記述

分析結果

書き込み→4

元ラベル：6生成

⇒小カテゴリー：5生成

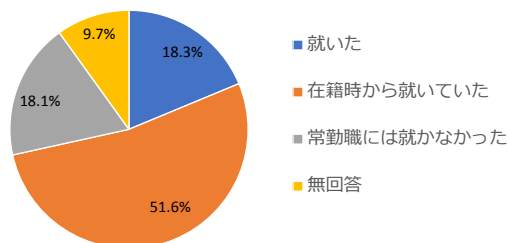
⇒大カテゴリー：2生成

大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1 サポートの不足	チューターやメンターの不足	2
	語学サポートの必要性	1
2 大学関係者や先輩が親切	先生方が親切・丁寧	1
	事務室のスタッフが親切	1
	先輩が親切	1

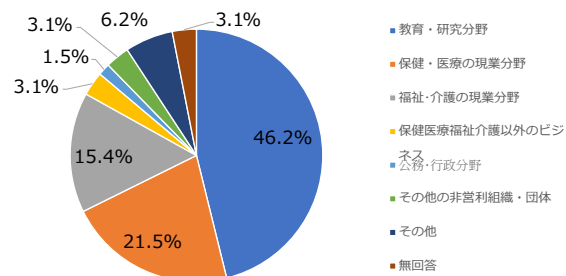
修了後について



〈修士〉
修了後に常勤職に就いたか？ (n=93)

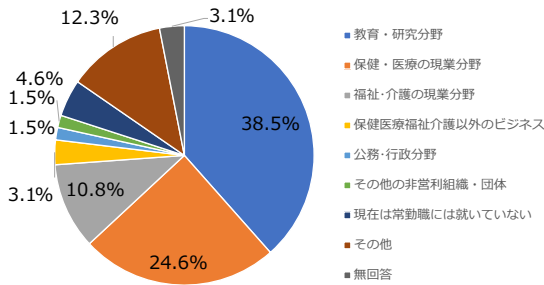


〈修士〉
修了直後の常勤職の分野・領域はどれか？
(常勤職のみ回答：n=65)



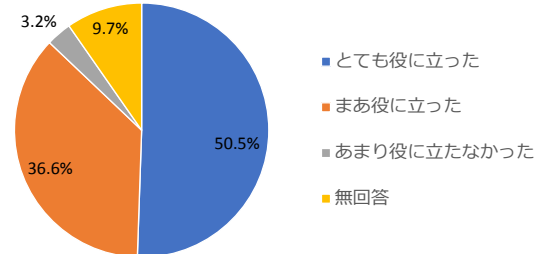
〈修士〉

現在の常勤職の分野・領域はどれか？
(常勤職のみ回答：n=65)



〈修士〉

学際的な学びは、修了後に自身の仕事や生活に役立ったか？ (n=93)



〈修士〉

学際的な学びは、修了後、自身の仕事や生活に役立ったか、の自由記述

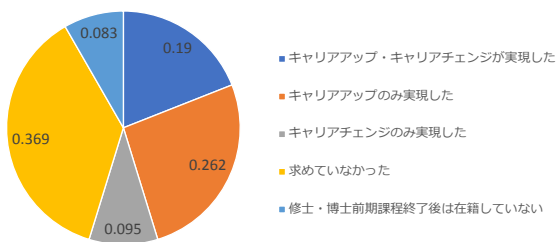
分析結果

書き込み：38 (内容により1つを除外)
元ラベル：37生成
⇒小カテゴリー：9生成
⇒大カテゴリー：3生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	仕事に繋がる学び	仕事に活かすことができた	19
		ステップアップに繋がった	2
2	ライフワークに役立つ知見	新しい知識の蓄積	4
		目標ができた	3
		老い活ができた	3
		日々に活かされる	2
		認識の変容	1
		多職種による住み分けと連携	1
3	人脈の獲得	人脈の広がり	2

〈修士〉

修了後、キャリアアップ・キャリアチェンジは実現したか？
(n=84)



〈修士〉

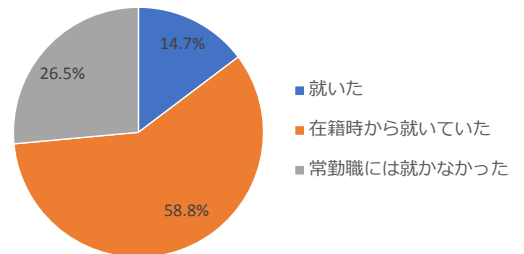
キャリアアップは実現したか、の自由記述

分析結果

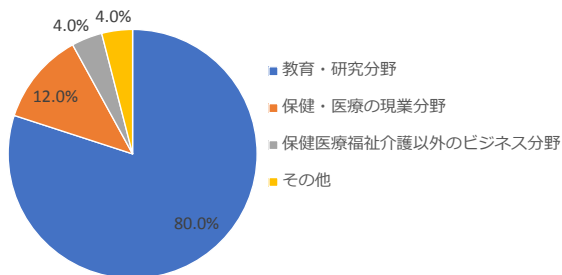
書き込み：30 (内容から1つを除外)
⇒元ラベル：29生成
⇒小カテゴリー：8生成
⇒大カテゴリー：4生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	キャリアアップ・ キャリアチェンジの実現	昇進した	8
		教職に就いた	6
		希望する職務に就いた	5
		仕事に深みと広がりがあった	4
2	キャリアアップの一步	キャリアの継続に繋がった	2
		博士課程に進学できた	2
3	修学の成果	人脈が増えた	1
		在籍したことが意味を持つ	1

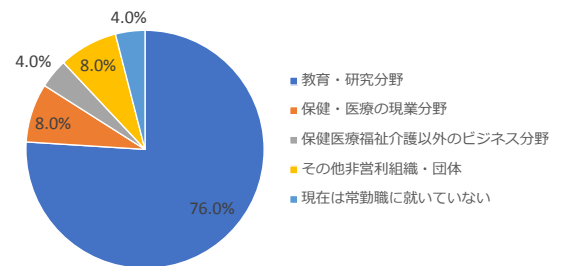
〈博士〉 常勤職についたか？ (n=34)



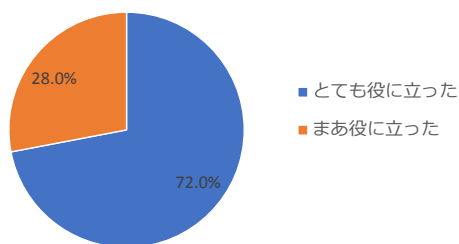
〈博士〉 修了後の常勤職の領域は？ (常勤職のみ：n=25)



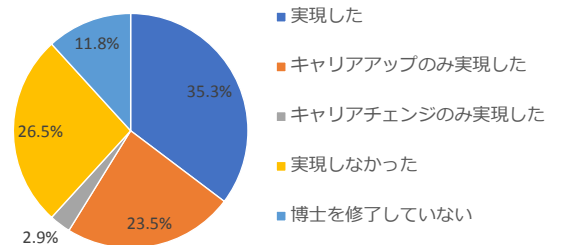
〈博士〉 現在の領域は？ (常勤職のみ：n=25)



〈博士〉 学際的な学びの活用は？ (常勤職のみ：n=25)

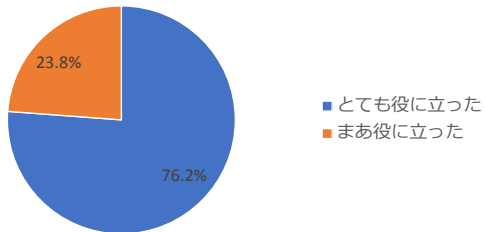


〈博士〉 修了後キャリアアップ・キャリアチェンジしたか？ (n=34)



〈博士〉

キャリアアップに老年学の学びが役に立ったか？（実現した人のみ：n=21）



キャリアアップに老年学の学びが役に立ったか、の自由記述

分析結果

書き込み：2

⇒元ラベル：3生成

⇒小カテゴリー：3生成

⇒大カテゴリー：3生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	資格取得	資格を得た	1
2	人脈	人脈が広がった	1
3	仕事への活用	仕事に役立った	1

老年学について



自由記述欄の記載

分析結果

書き込み：40（内容から4つを除外）

⇒元ラベル：62生成

⇒小カテゴリー：21生成

⇒大カテゴリー：6生成

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
1	これからの老年学への期待	老年学の発展	6
		老年学の周知と拡充	5
		老年学研究科の存続	3
		今後の老年学への期待	3
		修了生や連携校との交流の場	3
		老年学を必修に	2
		老年学を学ぶ意義	2
		老年学に取り入れて欲しい分野	2
		社会実装に向けた応用老年	1
		生涯学の設立	1
		老年学から社会への発信	1

	大カテゴリー	小カテゴリー	ラベル数
2	老年学から得たもの	老年学で学んだもの	8
		老年学から得たもの	2
3	先生方の指導への感謝	指導者への感謝	5
		丁寧な指導	2
		充実したゼミ	2
4	老年学への学びの継続	老年学を学び続ける	5
		さらに老年学を学びたい	4
5	カリキュラムへの要望	カリキュラムが忙しい	1
		カリキュラムの維持	1
6	感想等	修了後の感想	3

明らかになったこと（その1）

- 会員は、医療福祉系の教員が多いが、他にも一般企業やNPOなどに属する人もいる
- 志望動機には、老年学に対する魅力や知識を深めたいと考える人の割合が多い
- 9割の人が、学際的な学びや教育内容、教育体制に満足してたものの、3割が改善点（講師に関すること、入学前のサポートなど）を指摘していた
- 9割以上が学士課程においても老年学を学ぶべきだと考えていた

明らかになったこと（その2）

- 回答者数は少ないものの、留学生からはメンターやチューターなどの支援拡充が望まれていた
- 修士・博士共にキャリアアップ、キャリアチェンジができた人が5割以上存在する。しかし、キャリアアップやキャリアチェンジを望んでいない人も一定数いた
- 老年学に対してこれからの発展や期待が多く寄せられた

調査へのご協力
有難うございました

